

読譜視線計測に基づいた高齢者ピアノ学習におけるつまずき改善

現代人間学部 こども教育学科

准教授 **古庵 晶子**

研究種目： 基盤研究(C)

研究期間： 2019年度～2021年度

研究分野： 教育学関連



本研究の目的は、高齢ピアノ学習初心者のほぼ全員が、演奏途中で何度も止まってしまう状況を改善し、高齢者自身の満足度と達成感を高め、QOLの向上を目指すものである。

「演奏が止まる」原因は、エイジングによる様々な身体機能の低下により、「楽譜－鍵盤間の視線」の無駄な動きと、それを誘発する「編曲方法と運指」も原因のひとつと考えられる。視線移動をアイトラッカーで計測することにより、楽譜の止まりやすい箇所を抽出し、「つまずきパターン」を見出すことが可能であれば、高齢者の特質に合った編曲方法と運指法を編み出せるだろう。科学的根拠に依拠したつまずきにくい楽譜の開発は、ポジティブ・エイジングの時代に即した、高齢者のピアノ学習に寄与できると考えられる。教育老年学のなかでも、ピアノ演奏に特化した学習方法の確立を目指す。

主な著書

- 1) 「シニアの音楽能力の可能性-ピアノ学習と音楽テストを通して-」神戸大学表現文化研究会『表現文化研究』第6巻第2号
- 2) 「日本におけるシニアのピアノ学習研究について」日本音楽表現学会『音楽表現学』vol. 6
- 3) 「中高年世代を中心としたピアノ学習におけるつまずき-成人用ピアノ教則本の在り方について-」関西楽理研究会『関西楽理研究』XXXIII
- 4) 「高齢者のピアノ学習におけるつまずき-運指についての考察-」関西楽理研究会『関西楽理研究』XXXV
- 5) 「高齢者のピアノ学習—演奏が止まるというつまずきの様相-」関西楽理研究会『関西楽理研究』XXXVII

京都ノートルダム女子大学
研究・情報推進課

電話：075(706)3789
FAX：075(706)3793
電子メール：kenkyu@ml.notredame.ac.jp

